

“いっしょうけんめい がんばる” 神原っ子 ～一人一人のよさが輝く学校～



つぼみ桜

神原小学校だより
令和7年度 10月号



全国学力・学習状況調査の結果から



吹く風に少しずつ秋の気配を感じるようになりましたが、日差しはまだ強く、暑さ指数を確認する毎日です。今月も子どもたちが元気に過ごせるよう、気を配っていきたいと思います。

さて、4月に実施された6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。今年度は国語と算数に加え、理科も実施されましたが、本校では右の表のように、3教科とも全国・県平均正答率を上回る結果になりました。しかし、それぞれの問題の正答率を見ると、課題も見えてきます。

平均正答率	国語	算数	理科
本校	74	62	60
全国	66.8	58.0	57.1
山口県	68	58	58

国語では、話し手の発言の理由を答えるものや、資料から必要な情報を取り入れて文章に書く問題は大きくできていましたが、「好み」や「暑い」という漢字を書く問題の正答率が全国・県平均に比べて低く、無回答率も高いという結果になりました。

算数では、表を見て条件に合った項目を選ぶ問題や、五角形の面積の求め方を式や言葉で書く問題がよくできていた一方で、伴って変わる二つの量の関係を式や言葉を用いて記述する問題や、はかりの目盛りを読む問題に誤答が多く見られました。

理科では、発芽に必要な条件をもとに実験方法を選ぶ問題がよくできていましたが、顕微鏡の操作の仕方や、金属の性質について問われた問題の正答率が低くなっていました。

また、質問紙調査からは、将来の夢や目標をもち、学習に前向きである反面、自分で課題を立てて情報を集め、調べたことを発表することに苦手意識があり、自己肯定感も低い児童が一定数いることも分かりました。

これらを踏まえて、学校では、AIドリルを活用して基礎学力の定着を図るとともに、授業の中で児童同士の対話の時間を確保し、理由や根拠を問いながら、思考力・判断力を高めていくことにしています。また、今年度から取り組んでいるスクールワイドPBS（ポジティブ行動支援）の充実を図ることで、自己肯定感を高め、自信をもって自分の考えを述べるができる子どもに育てていきたいと考えています。

ご家庭でも、個人票をもとにお子様と一緒にこれまでの取組の振り返りをしていただき、今後の目標を立てていただければと思います。

校長 大中 正浩

1年生 宇部高専出前授業

8月28日、1年生が宇部高専の先生からドライアイスを使った出前授業を受けました。楽しい実験の数々に、子どもたちは「わーっ！」と驚きの声を上げていました。



ふれあい班で折り鶴づくり

9月3日、ふれあい班で集まり、みんなで鶴を折りました。折った鶴は6年生が一つに束ね、修学旅行で全校児童の思いとともに「原爆の子の像」に捧げました。



3年生 社会見学

9月11日に、3年生が社会見学に行きました。グリーンハウスでねぎづくりの様子を見学したり、UBE 株式会社で工業についての理解を深めたりしました。

